

みずほCustomer Desk Report 2022/05/17号(As of 2022/05/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	129.55
TKY 9:00AM	129.41	1.0403	134.57	GBP/USD	1.2256
SYD-NY High	129.67	1.0443	135.00	AUD/USD	0.6948
SYD-NY Low	128.70	1.0390	133.77		
NY 5:00 PM	129.10	1.0435	134.64		

NY DOW	32,223.42	26.76	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	11,662.79	▲ 142.21	日本10年債	0.2400	0.00bp
S&P	4,008.01	▲ 15.88	米国2年債	2.5719	▲ 1.54bp
日経平均	26,547.05	119.40	米国5年債	2.8239	▲ 4.94bp
TOPIX	1,863.26	▲ 0.94	米国10年債	2.8849	▲ 4.09bp
シカゴ日経先物	26,515.00	▲ 180.00	独10年債	0.9335	▲ 1.30bp
ロンドンFT	7,464.80	46.65	英10年債	1.7280	▲ 1.25bp
DAX	13,964.38	▲ 63.55	豪10年債	3.3660	▲ 1.90bp
ハンセン指数	19,950.21	51.44	USDJPY 1M Vol	11.88	0.43%
上海総合	3,073.75	▲ 10.54	USDJPY 3M Vol	11.15	▲ 0.23%
NY金	1,814.00	5.80	USDJPY 6M Vol	10.69	0.01%
WTI	114.20	3.71	USDJPY 1M 25RR	-0.60	Yen Call Over
CRB指数	315.59	7.01	EURJPY 3M Vol	11.96	▲ 0.09%
ドルインデックス	104.19	▲ 0.38	EURJPY 6M Vol	11.62	▲ 0.09%

【昨日の指標等】

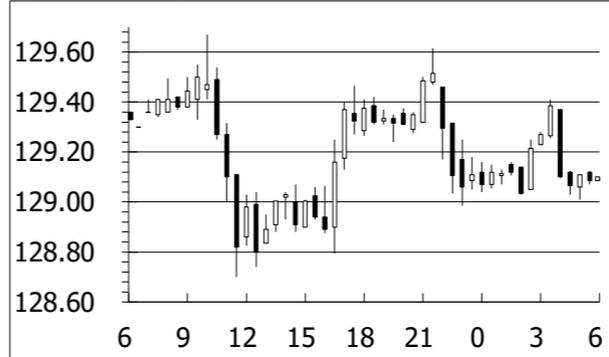
Date	Time	中	Event	結果	予想
5月16日	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	4月 -2.9%	0.5%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	4月 -11.1%	-6.6%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	5月 -11.6	15

【本日の予定】

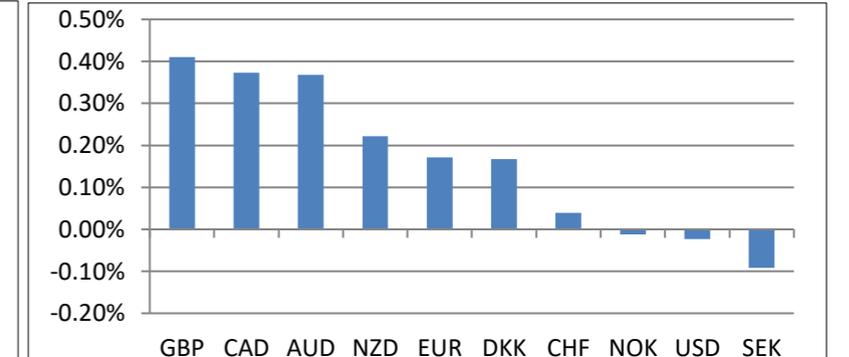
Date	Time	Event	予想	前回
5月17日	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q P 0.2%/5%	0.2%/5%
	19:05	英 カンリフBOE副総裁 講演	-	-
	21:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	4月 0.4%	1.4%
	22:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 0.5%	0.9%
5月18日	01:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	03:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	03:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は129.41レベルでオープン。仲値にかけて129.67まで上昇したものの、ドル買いが一服すると反落。じりじりと値を下げる中、11:00に発表された中国の指標が予想比悪化し、経済停滞懸念が強まると更に値を下げ、一時128.70まで下落。その後はやや買い戻されたものの、129円ちょうど付近では上値が重く推移し、結局128.94レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は128.94レベルでオープン。米長期金利が2.9%台まで上昇した事で、ドル円も値を上げ129.48レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.0406レベルでオープン。ビルロフ・カロー仏中銀総裁の発言を背景にユーロが買われ1.0438まで上昇。その後は若干値を下げ、1.0419レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場で中国4月の鉱工業生産並びに小売売上高が大幅に悪化したことからドル買い、円買いが強まり、ドル円は円買いの勢いが強く128.70まで下落したがその後は円が売り戻され129.48レベルでNYオープン。朝方は5月NY連銀製造業景気指数が予想を大きく下回り、この3か月の間で2回のマイナスとなったことから景気悪化が意識され、米金利が低下する中ドル売りに128.99まで下落する。午後に入りダウ平均がプラス圏へ上昇する動きに円売りが強まり、129.41まで戻すが、再び株式市場がマイナス圏へ下落する動きに129.01まで下落し、129.10レベルでクローズした。一方、ユーロドルは中国景気悪化懸念からドル買いが強まり1.0391まで下落するが、その後は徐々にユーロ円の買いが強まったことから下値をサポートされ、1.0438まで戻し、1.0419レベルでNYオープン。朝方は米NY連銀景気指数を受けたドル売りに1.0434まで戻すが、米株が軟調に推移する中ユーロ円の売りに上値を重くし1.0390まで下落する。午後に入り株式市場が上昇するタイミングで1.0443まで戻し、1.0435レベルでクローズした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.50-129.50	1.0300-1.0500	133.00-135.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は、129.41レベルでオープン。仲値にかけて129.67まで上昇するも、11時に発表された中国の経済指標が弱い結果を受け、景気後退懸念や米金利の低下の相まってドル円も128円台後半へ下落した。海外時間に入り、米金利が上昇に転じるとドル円も129円台半ばまで値を戻すも、その後は米5月NY連銀製造業景気指数の悪化等もあり、米株の軟調推移、米金利の低下を背景にドル円は再び下落に転じ、結局129.10レベルでクローズした。

本日のドル円は、上値重い展開を予想。本日は米4月小売売上高や鉱工業生産、パウエル議長を中心にFRB当局者の発言を控える。市場予想比で弱めな米経済指標の結果が続く中、本日発表の経済指標も軟調な結果を示せば、先週同様に世界的な景気後退懸念からリスクオフの展開となることを予想する。ただ、米当局者の発言で足許の景気や株価についての言及がなく、インフレ対処に対して引き続き強気の発言が続けばドル円の上昇圧力となる為、注意が必要。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。